

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎郷堀ヨゼフ			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎郷堀 ヨゼフ	【研究室】 淑徳大学
【本学の科目区分】 専門基礎科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 ◎ 【D P 2】 ○ 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】		

到達目標	生命とは何かという問い合わせから出発して、自由や公平といった基本概念について確認した上で、人権・自己決定権やQOL等について議論を展開していきます。人類社会が抱えている諸問題を事例として取りあげ、倫理的課題について検討しながら、その文化的・社会的背景についても論じます。学習者が医療福祉の現場をはじめとする今日の社会が直面している倫理的問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とします。	
授業概要	看護専門職として個人と生命の尊厳を守らなければならないという前提に立ち、生命倫理学や臨床倫理の基礎的概念と原則を土台にしながら、倫理的問題とジレンマについて国内外の事例を通して検討し議論していきます。出生前診断や不妊治療といった具体的な事柄について確認しながら、ディベート、グループワーク、ペアワークを通して諸問題について考えたり発表し合ったりする学びの場面に重点を置きます。	
授業計画	1・2 3・4 5・6 7・8	授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：基礎概念・道徳理論 学習内容：基本概念の整理、人類社会の倫理・道徳・倫理的課題・多様な視点 備考： 授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：生命倫理学 学習内容：生命倫理と専門職倫理（臨床倫理、看護倫理）、倫理原則・規定、ケアリング 備考： 授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：生のはじまり 学習内容：妊娠・出産にまつわる倫理的課題を取り上げ、優生思想・人口妊娠中絶・生殖医療・遺伝子治療を考える 備考： 授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：生のおわり 学習内容：安楽死や尊厳死にフォーカスしながら、脳死判定、患者権利（拒否権含む）、臓器移植、治療中止等の具体的な課題を取り上げる 備考：
事前・事後学習	事前学習：授業課題に関する資料（ニュース等含む）を熟読・視聴しておく。 事後学習：授業で取り上げた事例の解決方法について考察し自分の考え方・意見について整理する。	
評価方法、評価基準	課題レポート（50%）、授業参画（授業内課題へ取り組み（発表等）（20%）、リアクションペーパー（30%）をもって評価します。	
必携図書	指定しません。	
参考図書・資料等	『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編 丸善出版 2012年） 『生命倫理学とは何か—入門から最先端へ—』（アラステア・V・キャンベル勁草書房、2016年）	
受講、課題、資料配布等のルール	・学習者の主体的な学びを実現するためディスカッションやディベートを通して理解を深めたいと考えますが、オンラインツールをも活用してアクティブラーニングを促します。 ・授業毎はレジュメや必要な資料を配布し提示します。	

教員からのメッセージ	倫理について、戦時中の人体実験等のような過去の事例から学ぶことがあります。しかし、これら覚えた り知識として身につけたりすることが本科目の目的でありません。メタ思考を活かしながら「何が正しいか」 「何が問題なのか」「どうすべきか」という問い合わせに対して学習者自らの答えを導き出し、その答えを他の学習 者と共有し議論していくことによって学びを深めていきたいと思います。諸問題について掘り下げる、そして 考えていく中で、問題解決への道筋だけではなく、学習者自身の考え方や価値観を自ら探って確認していくプロ セスを大切にしていきたいと思います。ぜひとも積極的に参画していただければと思います。
オフィスアワー	—